Tokyo Tobihino Rotary Club
国際ロータリー第2750地区 多摩南グループ 東京飛火野ロータリークラブ

会長 河野 和正

幹事 守重 昌之

会長テーマ
会員の一歩前進はクラブの一歩前進
そして地域社会への社会奉仕の数歩前進へつなげる。

2020-21 Weekly Report vol.33-12

ロータリーは機会の扉を開く

2020年10月21日(水)第1508回 移動例会 日野RC合同献血例会 於:高幡不動尊駐車場

両クラブが準備を整えて迎えた献血例会。コロナ過で日野市内でもじわじわと感染が広がる中、献血会場は新型コロナウイルス感染症拡大を受けて感染症対策を徹底していますが、境内。路上の献血呼びかけの看板に応えて献血車までお見えのなる方は少ないです。

血液確保数の割合は、「新型コロナウイルス感染症対策本部」がイベントの開催を見直すよう言及した2月18日ごろから、献血者の数が減り始め、対策方針が出された25日以降は87.7%まで下がっています。増え続ける血液供給量に献血量が追いついてません。在庫が不足しており400ml献血をお願いします。特に若年層の献血が激減しています。

今、日赤血液センターでは、献血者が減り、必要な血液が補足しております。

集団献血を可能にする献血バスの受け入れ先が減少しております！企業や事業所・地域の皆様による集団献血の募集をしています。東京都では1年間に約60万人(延べ人数)の方々から献血へのご協力をいただいています。

皆様ご承知かと思いますが、おさらいの意味で、献血についてお伝えしましょう。

「献血」とは、病気やけがで輸血や血漿分画製剤を必要とする患者さんのために、自分の血液を自発的かつ無償で提供することです。皆さんの善意の献血によって、多くの患者さんの命が救われます。皆さんのご協力をお待ちしています。

血液は栄養や酸素の運搬、免疫など人間の生命を維持するために欠くことのできない機能を多く含んでいます。現在、血液の機能を完全に代替できる手段は存在しないため、医療において輸血は欠かすことができない治療法となっています。みなさまの献血(成分・400mL・200mL)によって必要な血液を確保し続けなければ、現代医療は成り立たないのです。

そして、なぜ、献血は必要なのか？

血液は人工的に造ることができず、長期保存もできません。医療技術が進歩した今日でも血液は人工的に造ることができず、長期保存もできません。また、献血者の健康を守るため、一人の方が1年間に献血できる回数や量には上限があります。そのため、患者さんに安定的に血液製剤をお届けするためには、一年を通じて多くの方に継続してご協力いただく必要があります。

献血で集められた血液は、けがをしたときの輸血に使われるイメージがありますが、けがの治療で輸血されるのは全体のごくわずかで、ほとんどは、がんなどの病気の治療に使われています。また、実は、輸血に使われるのは、献血血液のおよそ半分で、残りの半分は血漿分画製剤という医薬品を造るために使われています。（日赤血液センターＨＰより）

献血は命をつなぐボランティア

改めて申し上げるまでもありませんが、「献血」とは、病気やけがで輸血や血漿分画製剤を必要とする患者さんのために、自分の血液を自発的かつ無償で提供することです。皆さんの善意の献血によって、多くの患者さんの命が救われます。献血は命をつなぐボランティア。若い世代をはじめ、皆さんのご協力をお待ちしています！（日赤血液センターＨＰより）

今回の献血申込者数と献血者は下記の通りです。

献血申込者数50名、献血者45名

200ml献血3名、400ml献血42名

出席報告	総数	出席	MU前	MU後	欠席	出席率
第1507回	22	21	1	-	0	100%
第1505回	22	17	1	0	4	81.8%

ニコニコBOX	本日 1,390円　累計 254,089円
	本年度目標額1,200,000円　達成率21.1％

※今週のメークアップ　水野さん
※先々週の後メークアップ　なし

週報33-10　【森口様の卓話】不動明王は大日如来の変化身と記していましたが、「変化神」の間違いです。訂正してお詫び申し上げます。

10月21日 日野市役所にて書籍寄贈

事務局：東京都日野市神明4-22-13スペースブロンコ1F 〒191-0016 TEL 042-583-6434　FAX 042-583-6435　例会場：高幡不動尊客殿
会　長：河野 和正　　幹　事：守重 昌之　　副会長：梅田 俊幸　　クラブ広報委員会委員長：藤野 益夫

印刷所（株）アド・スクリーンサービス ☎042-586-1378